MONDAY, FEBRUARY 16. 1925. NO. 9083

The Japanese American News

大正十四年二月十六日（月曜日）第九千八十三號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 238
ENTERED AS S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 6.50
DAILY.....ONE MONTH 1.00
SINGLE COPIES ..... 5 CENTS
BRANCHES
DENVER SACRAMENTO
FRESNO STOCKTON
LOS ANGELES SAN JOSE
OAKLAND SALT LAKE
OGDEN VACAVILLE
PORTLAND WATSONVILLE

日米

日本近時の暴力跳躍

痛嘆すべき醜態

【一】

近時日本の上下に於いて暴力の跳梁すること其の極に達し痛心に堪へざるものがある。大行進、大化粧、大化け、大政治、大化け、大化け、大化け

本社東京特電 (二月十五日午前十時着)

政府の普選案を 樞密院愼重に審査

被選擧權年齡等に修正を加ふ

樞密院は目下愼重に政府提出の普通選擧法案を調査考究中なるが傳ふるところによれば被選擧權の廿五歲以上を冊減として貴族の戶主に選擧權及び被選擧權を賦與する條項は是を削除し浮浪者に選擧及被選擧權を賦與せざらしむるが如きは樞密院の修正案の要項なりと

政府治安法と共に

復興案提出の覺悟

貴族院側の反對に係らず

貴族院は復興豫案に反對ゝ去明し各派結束して政府に對抗せんとする形勢あるも政府は治案維持法案と共に復興案を斷然議會に提出するに決せり

復興資金二千五百萬圓 支出の使途が不明

監査局に於て目下帳簿調査中

東京復興院資金二千萬圓の支出の用途不明なる爲めに目下監査局はその帳簿を調査中なり

川崎造船所書記刺殺さる

事務の事に就て口論犯人自殺

川崎造船所の書記藤田達雄(?)は上級書記下野女次郎と事務上のことに就て口論の結果後者を刺し殺さる後自殺せり

出雲乘組遭難者遺族悲嘆

中央線闇山隧道附近で脫線

中央線の闇山隧道入口にて客車二十三輛脫線し五輛は橋梁に引掛れり

對外措置を誤る

陸相派を慰撫策

ジノヴイエフ氏は前陸相の二の舞を演じ、近く中央政界より左遷せらる運命に遭遇すべしと報道せるが、その說によれば、ジノヴイエフ氏處分はトロツキー氏と同じからざるべく恐らく南露に於ける重要なる使命を與へ暫く英斯科及びレニングラード政界より遠ざからしめんとするにあるもの如し

特に駐英使節ラコヴスキー氏は本國政府に對しジノヴイエフ氏左遷は保守黨內閣との對英關係に從て交渉に必要なり通告せるもの如くスタリン、カメネフ兩巨頭もジノヴイエフ氏の勢力跋扈を抑止する爲め且はトロツキー一派を慰撫する爲に同氏の驅逐に贊意を暗に表明しつゝありとの說あり(倫林)

英國の反對に遭遇せる 聯盟議定書の將來

軍縮條項は切り放されて 强制仲裁々判條項修正乎

英國政府は屬領政府を且下ゼネバ平和議定書に關し論議しつゝあるがその結果或ひは軍縮會議事項は議定書中の强制仲裁裁判及び相互保障案より切り離さるゝに至るべしとの說最近國際聯盟界に專ら傳頭しつゝあるが、もし此點實現せば聯盟提唱の軍縮會議の期限及び條件決定は無期延期となり從つて國際聯盟は軍備負擔の輕減と關係なく仲裁々判及び保障兩問題の解決策に專心盡力せざるべからざる處分に非常に同情を表しジノヴイエフ左遷を主張し追放せざらば、連袂辭職をなすべしと脅嚇し

勞農陸相を追出せる 共產巨頭二の舞か

ジノヴイエフ南露に左遷說

レーニン沒後の勞農政權は共產黨實行委員會長ジノヴイエフ氏及スタリン、カメネフの三巨頭に移り所謂三頭政治行はれつゝあるが、前陸相トロツキー氏を驅逐せる首謀者たるジノヴイエフ氏は

遣外使節驅逐を主張

歐洲關係電報 (二月十五日聯合通信)

勞農陸相を追出せる 共產巨頭二の舞か

ジノヴイエフ南露に左遷說

遣外使節驅逐を主張

內政條項修正乎

因にゼネバ議定書に於ける仲裁裁判案、相互保障案其他違反國に對する經濟及び軍事的制裁を强制する案は一般軍縮會議の招集及び軍縮を課すべき諸國の軍縮協定履行の如何に關するものなるが國際聯盟首領連は英國が議定書の政條項に不滿を表しそれりとの報に多少失望の色を示し、同時に是に關する英國の意見を後援しつゝあるを以て早晚議定書が全然廢棄せられたるものとは思惟せざるに似たり。米國の意見が明に議定書の稱民問題のごとき內政事項に關する條項に反對を表明

三團體聯合主催の武富 新總領事歡迎會

地方からも有志が續々參會

在米同胞の特殊地位を戒飾

三團體在日、桑日、商議主催の新任總領事武富敏彦氏歡迎晩餐會は一昨夜七時より聖フランシス・ホテルのイタリアン・ルームにおいて開催された、來會者は當地有志以外に地方代表者も加はり、約百三十名の多數で、非常なる盛會であつた、先づ當夜の司會者牛島謹爾氏の歡迎の辭につゞいて桑日會長大澤榮三、商議代表小松隆、須市議員、大學教授市橋倭議氏の歡迎の辭あり、終つて

總領事　武富氏は感謝の辭にかへて左の挨拶をなし十時散會

「今夕は私のために態々盛大なる歡迎會を催され、殊に地方の代表者まで遠路のところを御出席下され、御厚意感謝の極みであります。就任後今日をもつて一ケ月になりますが、總領事の仕事は總て外務省當局の方針によりて活動してゐる故に從前とは何等異なつたことはないのであります。日米外交問題に關しましては、私は過去米において、何れの秘民よりも勝れてゐるが故に、將來これ等の人々が如何に東洋文明を西洋文明の中に融和し又人民の中に入つて接觸點を如何に見出すかといふ事は大きな謎として見られてゐる故に、その點大に考慮し官民協力して日より再び大學運動をなす筈だが寄金募集は當年第三回目の事なので一般の人々がチエストに對する理解も出來勸誘は左程に骨が折れないといつのことである尚同チエスト寄金募集本部では一般寄金者のために支拂方法を樂にし二回もしくは四回拂にも應ずることゝしたが日本人間にはほんとに一回一時拂のみだと運動は昨日日曜日を一日休業本日より再び大學運動をなす筈だが寄金募集は當年第三回目の事なので一般の人々がチエストに對する理解も出來勸誘は左程に骨が折れないといつのことである尚同チエスト寄金募集本部では一般寄金者のために支拂方法を樂にし二回もしくは四回拂にも應ずることゝしたが日本人間にはほんとに一回一時拂のみだと

運動は昨日日曜日を一日休業本日より再び大學運動をなす筈だが寄金募集は當年第三回目の事なので一般の人々がチエストに對する理解も出來勸誘は左程に骨が折れないといつのことである尚同チエスト寄金募集本部では一般寄金者のために支拂方法を樂にし二回もしくは四回拂にも應ずることゝしたが日本人間にはほんとに一回一時拂のみだと

歌姫と佳人の招待會

東汽のス氏が環さん小松夫人を

東汽桑港出張所のパブリシティーエージェントなるジェームス・キング・スティール氏夫妻は十曜日午後パレオ街の自宅に滯桑中の三浦蝶子さんを歌姫とほまれ高い東汽のイタリアン・ルームにおいて汽支店長小松氏夫人を主賓として盛大に催された、來會者は當地有志大招待會を開いたが、各團體代表者や陸海軍武官夫妻、マクガウン氏夫人等數百名參集し非常な賑ひつた、先づ當夜の司會者牛島謹爾氏の歡迎の辭につゞいて桑日會長大澤榮三、商議代表小松隆、須市議員、大學教授市橋倭議氏の歡迎の辭あり、終つて

總領事　武富氏は感謝の辭にかへて左の挨拶をなし十時散會

「今夕は私のために態々盛大なる歡迎會を催され、殊に地方の代表者まで遠路のところを御出席下され、御厚意感謝の極みであります。就任後今日をもつて一ケ月になりますが、總領事の仕事は總て外務省當局の方針によりて活動してゐる故に從前とは何等異なつたことはないのであります。日米外交問題に關しましては、私は過去米において、何れの秘民よりも勝れてゐるが故に、將來これ等の人々が如何に東洋文明を西洋文明の中に融和し又人民の中に入つて接觸點を如何に見出すかといふ事は大きな謎として見られてゐる故に、その點大に考慮し官民協力して日米親善のために努力して活動したい、北米における邦人の位置は實に重大なる意義を有し、世界人士のひとしく注意を拂つてゐるところである、即ち日本移民の

實績な

めらるべきものはないが、たゞ北米においてのみ數において又實に邦人諸君が、その中心地にある在留邦人諸君が、その中心地にある在留邦人諸君が、その中心地にある在留

冬は悲しや

秀穂

ランプ吹き消して眠ろうとすれば蛙の目玉がピカリと光る。
暗い穴ん中で身もほそ〳〵と呼吸かすかにしやがんでる。
蛙何を待つ何とも食はないで眠かりピカ〳〵光らして。
蛙悲しや暗い穴ん中にや今朝も露が溶けて流れこむ。
春が來ぬ間にこれ蛙どの凍へて死ぬんなら悲しかろ。

戀は狂はしの ぶを

もう泣かぬぞもう泣かぬぞと誓ひし身は今日もまた泣く。
またしても心波打つやさらにおさへた先を秘す君故。
只笑ひ〳〵〳〵〳〵の涙しさよ寂しさよ消らなば消らねわが魂こそは
亡せなんとすれどもよわしをり〳〵に信の心憑まる人身は。
「繃帶と色合に私 隨分苦心してよ」いまし嘲め女一人涙す。
限りなき愛しさ憎さまさり來る陽陰の命傷受けてより。

友の手紙を見て

君泣くかあまりになやみ多ければ自力の神にひたぶらんさ、
たまさかの聖ののことばよりもなく入陽みつむる君思はゆ。

折にふれて

鹽崎まさる

我胸のつきぬ思ひのさ〳〵を秘して過ぎけり早六月は。
しのばれて涙ぐましきこの夕べ賤が小窓に春の雨降る。
目を閉ぢて窓にもたれて立ち居れば かすかにきこの漁人の歌。
筆持たや書も讀まずば只管に母さ働く蒼落のはて。
暗き飯母に見せじとちかひつゝ今宵破れし我が心かな。
淋しさはまさるを知れど忘れ得ず今日もしのばる白壁の家。
旅の夜の悲しさはまさる兄上の今日訪れし日のそのやつれより。
鹿島だつ兄に涙を見せまじと務めて笑ひ痛き我胸。
母にすら誠の我を云ひ得ずさか母詐しませ悲しし我がせい。

春

税所都霧

我が庵の狹庭で桃の若枝に春きにけりし雀あからむ。
桃が枝の春雨に濡れその嫩葉綠ましつゝ霞めぐめる。
春雨に大地濕りて、柴の叢色濃く吹き出にけり。
萠わいづる若草嫩葉朝な朝な傍き見つゝ我は歩めり。
露ふく萠わで、し嫩葉踏みもわでまわり路しつゝ我れは行けり。
太西洋より太平洋への旅日記書きつゝ、
我室はは暗くあれど春の陽の窓べにさして我はものを書く。
思ふこと歌にかきゐす女字にわす書きつ消しつゝ時過ぎ行けり。
古き歌より學びし聞き
君はしも憂きこと幾つ重ねつゝ學び舍出づる今日の嬉しさ。
學び舍の花園出でゝ今日よりは舵さる人となりて行けかし。
今日の日を樂み待ちつうきつさ忍びしのびて歩みきにけり。
人ひとり救ふ育つるそのことのいかに尊く難きわざかも。

現實の悲哀

柳汀

黄昏の夕べ
戀しい人を乘せる
舟が波止場へいつた
ばら色に飾りし部屋
戀しき人を待つ身は
言ひ知れぬ喜びに充たされぬ
それだのに待つ人ぞ遲き
一夜まんじりともせで
窓に立ち明かす女の心持
消へ入る樣な哀しい樂の調べ
その利那の純淨な心境に
ひたり得し者の喜び
喜びよ湧きいづる
氣藝術の沈潛
沈潛から惱みなき自由への
微い光明が生ずる
だが ふとして醜ひ自己を
見出ださないで濟むだらうか
私はそれが淋しい
――（孃さんの蝶々夫人を觀て）――

或る女へ

水谷慈二

女よ
お前のその嘲りは
多分俺のあの詩歌を見て上なる
べし
女よ
お前は六人の子の母で
あるに人一人の子を隨胎して苦
しみしに非ずや
女よ
フンなんかと笑はされよ
お前だつて悲しく
苦しい人間に違ひなからうには
ないか

追憶の花

まさる

淋しくなつてひとりでに
取りいだした詩集から
ことが音なく落ました
かつての日――
いさかひの後の淋しさに
貴女の所有のこの花を
小さい青い花瓶から
そつとぬすんではさんでおいた
私の涙のこの花が
あの頃からもう一年はたつて
「私達は姉妹よねー」きつと
きつといつ迄もいつまでもね」
幾度かくり返されたこの言葉は
二人の胸を去つてもも
この花のみは捨てかねて
永久に――永久に私はは
やおきませう
なつかしい貴女の部屋の追憶に

赤い胞毛

心樹

貴女の心の思ひ出に――
何ていふ小鳥ぞ
褐色の胸毛を
朝日に照らせて
竹の小枝に止まつて
いつも裕かなるは
ひよいと地に降りて
豪慢無禮な
ひよこ〳〵と歩めば
あはれ
小鳥なりけり
ちいちく鳴けば
あはれ
小鳥なりけり

蟬蛙會各位へ

森素人

物丸先つ火蓋を切り、溪蛙直に
應じ、多葉子これに割込め、込浪
時々威心し、素人大抵で降參す。
怡土雨苦く笑ひ、畦水鼠面目な顰
し、異村何でも考へ込み、江石專
ら傾聽す。
蟬蛙會例會のスケッチに候。
二月は正月忘け候。ものから一度
にては足らぬとの事にて再度催す
事に相成り候。まだ〳〵この分
にては厭は確にて意を强うするに
足り候。
募集句も本年は蟬歌を癒し、課題
句を以てこれに代へ申し候。多
少にても空氣が代謝さるべきかと
思ひ居り候。
尙一般課題句は今迄の五句制限を
十句制限と致し候。別口に二枚
出す必要は之無候へども、字は
丁寧に分かり易く書いて下さる樣
願ひ上げ候。
夢地氏の句集到着致し候。一部
は既に拔山氏の手を經て頒布濟の
事と存じ候が、濟なる裝釘は
欺むるところの百句と共に、氏の
温容に接する心持致され候。遙
に氏の健在を祈居り候。早々
二月十一日。

蟬蛙會例會

時日 二月二十二日午後六時半
場所 サター街 新時代社
募集句 雪解「五句」
締切 二月二十日 素人宛

高木蝶夢君（四）

森素人

○硝子窓に浪無返す暮かな
○晩涼の襲ひ來るや漁師町
○日蝕に畫の星見ゆ秋空
○鳴く水鷄壓して夜の驟雨かな
○枝川へ狩行く人や前かがみ
此等の句を一年以前の句の傲々
○己が句の短册磨し夜長の灯
○若芽皆青く光りて暮れにけり
○丙乘や新芽吹出し眞紅
○鏡臺に上り下りたる嫁ケ君
○囀や止れる枝をゆり乍ら
○逝春や地に居て鳴けり雲雀の子
○朝晴や句こぼるゝ沈丁花
○相寄りて親しき顔の春燈下
○はくれ鶏百合の畑を荒らけり
○春雷に刷れたるもとゝ歩きかな
たるに比較して見て、醜世の感あ
り。
○繃帶に上り下りたる嫁ケ君
○囀や止れる枝をゆり乍ら
○逝春や地に居て鳴けり雲雀の子
○朝晴や句こぼるゝ沈丁花
○相寄りて親しき顔の春燈下
○はくれ鶏百合の畑を荒らけり
○春雷に刷れたるもとゝ歩きかな
飛鳥に振るめた。
○相寄りて親しき顔の春燈下
○はくれ鶏百合の畑を荒らけり
○春雷に刷れたるもとゝ歩きかな
日蝕の句は君が管て日米紙上に
十句制限と致し候。別口に二枚
出す必要は之無候へども、字は
丁寧に分かり易く書いて下さる樣
願ひ上げ候。
夢地氏の句集到着致し候。一部
は既に拔山氏の手を經て頒布濟の
事と存じ候が、濟なる裝釘は
欺むるところの百句と共に、氏の
温容に接する心持致され候。遙
に氏の健在を祈居り候。早々
二月十一日。

蟬蛙會例會

時日 二月二十二日午後六時半
場所 サター街 新時代社
募集句 雪解「五句」
締切 二月二十日 素人宛

兼題『冬の雨』

二月例會

込浪
冬雨に車の古びを見て座る
溪素多怡選
冬雨に天井低き住居かな
溪物選
軒下に夕刊賣るや冬の雨
句作する眼や冬雨にをのづから
冬雨に外出すべく着更へ居り
込物選
廊りゝし布團の藏や冬の雨
込怡選
冬の雨日選にある赤大根
冬物選
大寺や暗く灯りて冬の雨
物込選
冬の雨灯せるまゝに暮れにけり
一點句略
込浪（十三點）素人（六點）多葉子（四點）
怡土雨、物丸（二點）溪蛙（一點）

同
同
同

草笛

社會教育の施設に就て

右山清壽

【一】

最近流行語となれる社會教育なるものゝ範圍はきはめて廣汎である。獨り民間にがあるは云ふ迄もない。獨り民間にがある各種の施設のみならず近時官公邊の經營に係はる諸般の事業がどし〳〵實行せられてゐる。就中最も重要視せられてゐるのは、青年會、女子青年會、婦人會の如き、所謂修養機關である。その他宗教團體に就て経營せらるゝ育兒救恤等に對する幾多の事業が經營せられつゝあること、然るにカラハン氏が突然應接間に集まつる記者團に露語で數時間後には調印することを發表したので、時條約の調印のことは誰も信用出來なかつたが、露語を解する記者が電信局に駆けつけたものである。

大騒ぎとなつた漸く日本側でも調印のことを發表したが、實は露國側の駆引に惑りてなつた計畫により最近中生倶樂部所屬の日本側では最後の調印をする時まで尚一種の不安を感じてゐたからであるが、條約こんなに突嗟に調印することについては、その時にもいろ〳〵前例を調査したが、結局これを拒む理由ないとなつて、調印したのは珍しいことで、それだけ今度の日露條約は無理がない證で、批准のごときも極簡單に完了することだらう。調印當夜の打ち明け話では、露國側の駆引に惑りてなつた

フレスノ (十四日)

選定された新幹部

▲第一回布日常議員會が本年度第一回常議員選擧が例年の通りのよび物となつて出馬者は三十四名、殊に本年は理事增員とその選擧競爭の暗流があつた爲か議場の空氣は緊張してゐた。富田理事長が病氣缺席のため白川副理事長が假議長となり指命點呼して議會成立、福島(雷)氏に推薦、白川議長から副議長に福島(雷)を書記に後藤氏を指名、小澤幹事よりの一月分の庶務會計の報告異議なく承認され、農業家援助の件、常議員選擧開票の件……增田德次郎氏報告、常議員推薦の件……吉木、河野、川口、岡島、藤井、桑本、河治、岡野、和田の報告も承認され、議事日程、措置を新幹部に一任、任期常議員の件、加州洪フィッグス組合援助の件は實行方法を同上、大分譚の花がさいたが熊高氏より井原孫三氏、白川氏より新谷吉藏氏、野津氏より桝田復一郎氏を推薦し投擧の結果、井原孫三氏が第一日の傭船の二氏規定三分の二の多數得點に廿八點、新谷喜久藏氏が廿三點、星子寅太郎氏が廿一點で當選、常議員會正副議長選擧の件、議長に星子福島(雷)二氏何れも過半數に達せず決選の結果、星子寅太郎氏が議長、副議長に竹野白川二氏何れも過半數に達せず決選の結果、白川時夫氏が副議長、議長選擧の件、星子議長の挨拶、副議長選擧の件、白川副議長の挨拶、常議員會正副議長選擧の件、議長に星子福島(雷)二氏何れも過半數に達せず決選の結果、星子寅太郎氏が議長、竹野白川二氏何れも過半數に達せず決選の結果、白川時夫氏が副議長、議長選擧の件、星子議長の挨拶、副議長の挨拶、神川幸一、福島雷次郎、野津佶、富田勘三郎、熊高竹市、和氣圓平、星子寅太郎、中筋三之助、桑本直一、增田德次郎、白川時夫以上當選次點は江本弼治郎、森民次郎、竹野儀治郎の諸氏であつた。

オークランド

エデン日會決議

同會にては去る八日總會を開き會計事務の承認をして議事に移り六弗の會費を五弗に減額しなほ一家に二人以上の會員ある時は一人四弗宛にすることに決定。

議事部を設けて時々講演會を開催するほか各種の娯樂機關を設くこれがため來る二十五日の評議員會にて委員數名を擧ぐ。

農事部に現狀維持さる。

サンリヤンドロ區に評議員一名を增加すること。

會則の一部に修正を加へ字句を訂正する所あるをもつて山口、藤野の兩氏を修正委員に擧げ後日これを修正せしむること。

等を議したるのち加藤金太郎氏の提案にて當時の正副議長と書記にその勞を謝し前幹部に感謝狀を贈ることを決議し於はりに露木健太郎氏の提議にて左の決議文を通過す

役員諸氏の努力により大正十三年度の多事多忙なる時に際し適當の處置を施しよく本會の威信を保ち會員の安定をゐせしめたるもの、確實なる基礎なきものの力によるものとみなす。

總會の決議をもつて感謝の意を表す

❺入場券取次　來る廿一日桑港のレフォーム民政會に於て開かるゝ三浦環女史音樂會の入場券は主府の西垣氏及び山下洋服店にて取次販賣するつい入用の方は第八街西垣氏及び山下洋服店にて取次ぐ

❻出生　靜岡縣人彩山米太郎氏妻セスは山崎產院にて長男安藤利雄を命名▲ステージの宮本氏方に男兒主府第七街伊藤氏方に女兒何れも明日王日會に受取方を申來りしにつき木村幹事受け取て王府佛教徒の宿にて御靜養を縁ける由

❼常盤倶樂部役員　トキハ倶樂部の評議員會は豫定通り十二日夜同會に於て新幹部の互選を行ふ結果左の通り大部分重任したる。

會長　民助友造
副會長　木野富尾
同　武藤省吾
同　吉田ドクタ
會計　吉田帝國賀
同　岡田
演藝部長　利行天賞堂

❽星野氏移轉　星野伊勢太郎氏は今回マウントエデンに移轉しアドレスはルート二アールエフデーボックス一二五へイワードなり。

❾サンリアンドロの下來羅中の在米日本學生基督教聯盟の赤木幹事をまねき創立に關し先づ同氏のサゼッションを聞き相談を進むる事にした。

❿基督青年會進捗　十二日午後七時半より羅府日本人基督教青年會創立實行委員會を開き谷越勝太郎、仲木清秀、松永多平、大久保逸次、木村末喜の諸氏は商業會議所に會合して目下來羅中の在米日本學生基督教聯盟の赤木幹事をまねき創立に關し先づ同氏のサゼッションを聞き相談を進むる事にした。

⓫日連敎育會祝典　當市日蓮宗は十五日午前十時から同日曜學校の運上式を開催し盛大なる祝賀祭を執行する筈なれば

墨國視察注意

若杉領事語る

近頃加州方面からメキシコに向け增田德次郎氏の事業の經營もしくは利權の取得を目的として出掛る同胞が少くない。

やうである。これは我同胞の發展活動の表れとして誠に結構な事であるが、メキシコでは既に世についたられてゐる通り多大の資本を設備を要するのであるからそれ等の人々は何よりのうるさかに考慮すべきは資本の問題である。また同國には勞働者はあり餘つてゐるので勞働賃銀の如きもきはめて低廉であるから勞働を目的とし若弗死にすることに致正。

議員部を設けて時々講演會を開催するほか各種の娯樂機關を設くこれがため來る二十五日の評議員會にて委員數名を擧ぐ。

農事部に現狀維持さる。

サンリヤンドロ區に評議員一名を

たかも日本の古風な家庭のやうである。これを心ゆないで米國式にコースにいるや藤井會長の司會の下に開催藤井氏の挨拶あつて川崎副領事を紹介し同氏の現狀を說き層一層吾人同胞の協力一致を說きそれより第二式に移り出席者は片つ端から手持ちだしの餘興に打解けたうつくしい宴をおへたのは十時ちかくであつた。

⓬日蓮敎育會祝典　當市日蓮宗は十五日午前十時から同日曜學校の運上式を開催し盛大なる祝賀祭を執行する筈なれば

砂糖大根契約

ソートレーキ (十日)

▲昨年ソ市內客は變らない砂糖大根耕作者と製糖會社との大根取引に關する相談はいよ〳〵まとまつたが今年も大體に於て昨年と變らない。

ただし大根に噸六弗死の支拂をなし殘金は糖分の含有量さその市場に準じて支拂をなすものであるさ

❶強盜に見舞はる　冬がれの不景氣にちかう頃强盜の出沒頻々なるの風説あり殊に日本人を特に狙ひしてゐる者もあるらしく去八日八時過ぎまた〳〵强盜が當市西部第二南街水源氏經營のオーケークリニングの表ドアーをこつぱりて入込み現金二十餘弗外に櫃に抽きさし表點さを盜みて逃走せりさ。その被害少からず

❷丸山牧師の來往　三年前までオクデン日本人基督教會牧師さして今名ありし丸山吉永氏はこの後二年間シカゴ大學にまなびて神學史學の研學位を受て加州に歸りたかく歸朝計畫中なりしが今回長老及び組合派傳道部の懇請をうけ牧師として去八日來任し今後田島牧師と協力して當市及び山中部一般の傳道につくさるべしさ

❸塩湖基督敎會共同會員　去八日午前十一時より新會堂にて晩餐式擧行。なほ當夜共同會總會を同所に開き數項の重要議案を協議後本年度の新役員を選擧せしが其の結果左の如し

會長　浦田定雄
心靈部長　坂本
文學部長　佐々木
社交部長　木
音樂部長　有馬
慰問部長　有馬
運動部長　川戸
書記　村張

❹塩湖日本婦人會新役員　同婦人會本年度新幹事は原きくの子、水戸岡たつ子、西山さく子の三名因認眼科專門醫紹介及び通譯

❺盛大なる宴會　サンピドロ線日本人フォーマン諸氏は去十日夜當市靜岡家料店にて新年宴會をかねて懇親會を催したるが頗る盛會なりしさ

❻キャンプ主任代る　南部ユタ、レーンス採坑主任は從來山口耕一氏なりしが去月より後田倉市氏その後をおそひ山口氏は業務中なりしコンピヤ採坑日本人部主任を專業するさ

ターラック (十日)

❶萬歸調査　例年の通り外務省の調査に基き本年はなるべく早く領事館より當日出會に通知したれども

❷隣時餐會　來る十五日午後三時より日會事務所に於て隣時餐會を開催し會長の主催で晩餐會を兼ねて懇親會を催されるから各會員は萬障を排し出席を望むさ

初會の婦人會　ターラック婦人會のホールで第一回の集會を開くさ會後芳野夫人が各夫人の親睦をはかり病氣全快祝ひの意味で來會者一同に晩餐を供したいから一般夫人は出席せられたいさ

❹電話新設　當地村上鮮魚店にては電話を新設番號は四三〇五九

❺訂正　先日の當地通信欄に關根耕代氏の寄贈になる雜誌大陸さあるは大陽のあやまり

❻細木氏の新住所　參事員細木若次郎氏は過日移轉新アドレスはターラック、アール二ボックス一一八なりさ

賣苗契約

玉置芳太郎

右現住所知度しり　日米新聞社

GILROY SEED CO.

GILROY, CALIF.

原產地種子

特撰純育レタース（古種名種子卸小賣百斤以上は卸賣りの値段で差上げます）

レタース アニオン 專門

其他各種子卸小賣

本年度のトメト苗御入用の方は如何程にても大至急約に應じます御申込は左記へ御來談の事

1534 Oregon St., Berkeley, Calif.
FUJII BROS Nursery

＜オークランド欄＞

王府第七街二三五　電話オークランド五九四〇
産婆 山崎シモ

王府第六街一六五　電話オークランド四五三六
王府支社

イースタン洋服店　電話 Ark. 舞
1912 Telegraph Ave. Oakland Lake 7576
上原久雄

電話レーキサイド六九九六
自動車 出張 ジョー 修繕 中川

王府第六街三三一　電話レーキサイド四三〇
辻寫眞館

＜ロスアンゼルス欄＞

ヂャクソン街三二七　電話TR七二七七
羅府支社

王府第八街二五　電話レーキサイド三四七四〇
矢幡富藏

王府第八街四一五　電話レーキサイド一六八五
公認醫師會（A B 東）

王府第八街二一五　主人 足立
電話レーキサイド一六八五
美洲樓

王府第廿街五一〇　電話レーキサイド
堀田產院

王府第八街三七四　電話レーキサイド一六〇
ホテル

王府第廿街五一〇　電話レーキサイド
重富寫眞館

王府第八街三七四　電話レーキサイド一六〇
ホテル

公認 歯科醫師

王府第八街三七四　電話レーキサイド一六〇
橋本醫院

王府第八街二五七二　電話レーキサイド一六〇
山田醫院

王府第八街二五七二　電話レーキサイド一六〇
犬飼よし子

王府第八街二五七二　電話レーキサイド一六〇
犬飼 猛

王府第八街二五七二　電話レーキサイド一六〇
犬飼 伊藤

王府第七

サクラメント

二年前の殺人犯跡發見

殺害後家屋に放火す

櫻府警察署の記錄に止められた中で尤も兇惡殘忍と認められる二年前の殺人犯跡が今度發覺するに至り加害犯人と目されるグラムは昨十四日エム・テー・テラなる黑人昨十四日オークランドで捕縛され本月曜日櫻府に押送の上來る火曜日に豫審裁判に附されることになつた千九百二十三年八月の候に市内イー街なる株主總會開催にさき選挙其準備の火後調べて見ると十七日夜自動車の死骸が眞黑焦けとなり現れて來た當時消防署ではライトが泥酔して床に入し際あやまつて失火したものの報告をしたが、ライトのテライトの殺されたのは第二街の某所で撃殺後死骸をイー街なる住屋にかつぎ込み罪跡を眩ます爲放火したものだと說人まで現はし、サマル・シュックスなる友人の一人を代理として法廷に出て、近く株主總會を開催にさき選挙其準備の爲に引き延ばしに檢事局の活動をなつたものらしい

ローエル氏の論文

當市ビー紙上に表はれる

敢てビー紙の提灯持をするではないがサクラメント・スター紙を併せしたビー紙は大に發展振を示し

佛教會役員會

會員倍加運動

スタクトン病院株式發起人會議

來る十七日夜

スタクトン病院株式募集は着々と日會事務所にて進められ、殘務の整理も既報のごとく伊藤敏吉氏の手によつて取運び中の株式組織の計畫可も愈々下附になりたるを以て、近く株主總會を開催にさき選挙其準備の爲に來る十七日夜日會事務所に於いて發起者會議を開く由なるが發起人は當夜萬障繰合せ是非とも出席ありたいと

七年此方の出水

二月二日より降續いた大雨にて當地方一帶は千九百二十年以來の出水を見るに至れり十一日には、當市オロビル、ハミルトン、レッドブラフ、オーランドの各方面へ

スタクトン病院株式募集は着々と日會事務所にて進められ、殘務の整理も既報のごとく伊藤敏吉氏の手によつて取運び中の株式組織の計畫可も愈々下附になりたるを以て、近く株主總會を開催にさき選挙其準備の爲に來る十七日夜日會事務所に於いて發起者會議を開く由なるが發起人は當夜萬障繰合せ是非とも出席ありたいと

佛教會役員會

會員倍加運動

奈落

【四】

益田甫

「私、この間から始終さう思つてしてゐた父親を、さう〜無理にるたのですけれど……」

と定子はさう〜云ひ出した、

「やつぱりお父さんが家にゐる時ちがうしても云ひ分を通さうとするだと何だか具合が悪くつて來ましたかつたのよ。これ持つて來ました。取つてちやうだい」

定子はさういひ乍ら、帶の間から紙に包んだ小さいものを取出して、そつと綾子の手に渡さうとした。

「あら、お母さん。私お金の事で心配があるわけぢやないのよ」

綾子はあわてゝ定子の手を押へた。と同時に彼女の心は思はずほつとしてためいきをついた。

「でも折角お小づかひと思つて都合をして置いたのですから、ほんの僅ばかりなんですけれど取つてちやうだい」

「でも私、お金の事で心配があるわけぢやないのですから……」

と定子は云つてためらつてゐた。

「まあ宜いぢやありませんか。ほんの少しばかりなのよ」

さういつて定子は無理に紙包を握らせてしまつた。

「すみませんわね」

「綾子はふと涙ぐましい心になつて定子を見た。まるで妹としかの思はれない綾子に『母』と呼ばれる若い女性の苦しみを、彼女はまざまざと見てゐる心地であつた。後妻、後妻に出來た子、先妻の殘して行つた子、この三角のしがらみにからまつて、一人で惱んでゐる彼女の心を氣の毒に思はずにはゐられなかつた。しかも彼女が長い間浮いた水商賣になじんで來たとして、好くもこの苦しみに堪へて行かれるものだと思ふと、綾子はまざまざとは今更ながら我儘な自分を悔やまずにはゐられなかつた。

「馬鹿な事を云ひなさんな。俺の家は代々堅い商人で通して來たのだ。女役者なんを伊豆風の腰巻の下から出したさ、はれちや、俺が御先祖に對して申し譯がねゝ」

氣持にはなれなかつた。そして殆さういつて頑固一點張りを押通さ

れて、定子はとうとう諦めてしまつた。

「まア宜しいわ、お母さんの事を思ひ、なるべく涙ぐましい心になつて定子を見た。まるで妹としかの思はれない綾子に『母』と呼ばれる若い女性の苦しみを、彼女はまざまざと見てゐる心地であつた。後妻、後妻に出來た子、先妻の殘して行つた子、この三角のしがらみにからまつて、一人で惱んでゐる彼女の心を氣の毒に思はずにはゐられなかつた。しかも彼女が長い間浮いた水商賣になじんで來たとして、好くもこの苦しみに堪へて行かれるものだと思ふと、綾子はまざまざとは今更ながら我儘な自分を悔やまずにはゐられなかつた。

「馬鹿な事を云ひなさんな。俺の家は代々堅い商人で通して來たのだ。女役者なんを伊豆風の腰巻の下から出したさ、はれちや、俺が御先祖に對して申し譯がねゝ」

氣持にはなれなかつた。そして殆さういつて頑固一點張りを押通さ

「まア宜しいわ、お母さん。私お金の事で心配があるわけぢやないのよ」

綾子はあわてゝ定子の手を押へた。と同時に彼女の心は思はずほつとしてためいきをついた。

「でも折角お小づかひと思つて都合をして置いたのですから、ほんの僅ばかりなんですけれど取つてちやうだい」

「でも私、お金の事で心配があるわけぢやないのですから……」

と定子は云つてためらつてゐた。

「あら、お母さん。私お金の事で心配があるわけぢやないのよ」

綾子はあわてゝ定子の手を押へた。と同時に彼女の心は思はずほつとしてためいきをついた。

「でも折角お小づかひと思つて都合をして置いたのですから、ほんの僅ばかりなんですけれど取つてちやうだい」

「でも私、お金の事で心配があるわけぢやないのですから……」

と、こんな事を聞ねがしにつぶやくと、

「まアお待ちなさいよ。私がきつと何とかお父さんを說いてみますわ。短氣な事をしないやうにね。世間では私を睨むのですから」

と定子は云つてためいきをついてゐたこともあつた。

さう〜、彼女が享樂座の女優見習ひ生となつてからも、父親の儀兵衛は自分の家から劇場へ通はれたのでは、世間にみつともないといふ理由で、彼女を他に下宿させて置いたのですから、ほんの僅ばかりなんですけれど取つてちやうだい」

と定子は云つてためらつてゐた。

「まア宜しいわ、お母さん。私お金の事で心配があるわけぢやないのよ」

綾子はあわてゝ定子の手を押へた。と同時に彼女の心は思はずほつとしてためいきをついた。

「でも折角お小づかひと思つて都合をして置いたのですから、ほんの僅ばかりなんですけれど取つてちやうだい」

「でも私、お金の事で心配があるわけぢやないのですから……」

と、こんな事を聞ねがしにつぶやくと、

「まアお待ちなさいよ。私がきつと何とかお父さんを說いてみますわ。短氣な事をしないやうにね。世間では私を睨むのですから」

と定子は云つてためいきをついてゐたこともあつた。

さう〜、彼女が享樂座の女優見習ひ生となつてからも、父親の儀兵衛は自分の家から劇場へ通はれたのでは、世間にみつともないといふ理由で、彼女を他に下宿させて置いたのですから、ほんの僅ばかりなんですけれど取つてちやうだい」

と定子は云つてためらつてゐた。

「あら